

編輯兼發行所 磐城時報社
印刷所 磐城時報印刷所
電話 磐城時報社
廣告料 行字一文字一ヶ月五十五銭
印刷部 行字一文字一ヶ月五十五銭
電話 磐城時報社

秋晴れの高月臺で 青年體育競技

競技は内郷、武道は豊間優勝

石城郡聯合青年團體育大會は十日午前九時から磐城中學校グラウンドに於て開催された。参加團體は平町外二十五團で、定刻前年度優勝團内郷青年團より優勝旗の返還あり、聯合團長小楢山警中校長の訓示あつてフキールドは砲丸投決勝より、トラスは百メートル選より開始された。右競技成績左の如くで總得点三十六点を以て内郷青年團陸上に於て再び優勝し、武道は豊間青年團が優勝した。結果左の如し

- ▲砲丸投 1内郷西牧清富(一〇米〇五) 2大浦渡邊義衛、3平佐久間芳夫、4好間第一志賀重郎、5湯本遠藤七郎
- ▲砲丸投 1内郷永山源一(三三秒九) 2小川柳内五郎、3泉大野一
- ▲砲丸投 1内郷西牧清富(一〇米〇五) 2大浦渡邊義衛、3平佐久間芳夫、4好間第一志賀重郎、5湯本遠藤七郎
- ▲砲丸投 1内郷永山源一(三三秒九) 2小川柳内五郎、3泉大野一

米價引上げの陳情 首相、農相に提出

石城郡町村長會では九日午前十時から評議員會を開き協議の結果、左の如き米價引上げに關する陳情書を農務省相並に後藤農相に提出する事になった。

米價引上げ陳情書
農村窮乏の原因に種々あり、雖も農家の主作物たる米價の暴落と農民負擔の重壓とがその主因たるものと確信致候、抑も現下の米價は生産費を償

曾我氏慰勞會

退職した平第一小學校長曾我直治氏の慰勞會は十二日午後二時から聚樂館に開く筈であるが、三百六十名の参加者が決定した。

内郷、湯本兩町村 平署で特別執行

泥酔者さへ無く平穩

平警察署では犯罪防止の目的で、平署でもその平穩さを一際十日午前零時巡査四十餘名を召を喚びた由である。午前四時特集し犯罪の最も頻發する内郷、別執行を終え、湯本町記念館會館湯本の兩町村に亘つて特別執行で警備、入山社員と合同の慰勞を行つたが、犯罪者皆無で一名會を開き午前九時散會した。

磐炭の優良礦區 住吉坑復活

十月初旬から採炭 活況を呈す常磐炭礦

常磐炭礦は石炭の需要増加で近きて既に着炭した優良坑である年にならぬ活況を呈してゐる事だ、採炭せずに置いたもので炭報の如くで一時は十圓等にまで質極めて優良で目下排水作業中下落した磐城炭礦株式は目下四であるが、十月初旬から採炭に着手出来る見込みである。

不正運送業者を 呪ふ投書

遂に平署で乗り出す

平町には所謂非公認運送店が數農事講習會を開く。軒あるが、最近貨物輸送に當り多額の運賃を要求して荷主を苦しめる事實が平警察署への投書により發覺したので平署では之を平町鈴木喜作、田村次郎、大山等不正の運送業者を召喚嚴重説庄松、藤夫一郎の四君は八月十日平町田町平澤勝次郎方の手提金庫窃盜犯星野六平を、平町田町齊藤二郎君は八月二十九日田町根本時計店の金時計窃盜犯赤津勇進を逮捕したので、刑事協會から表彰された。

相馬支局通信

井戸に親子の死体

十日午後三時半頃相馬郡日立木村赤木齋藤要方井戸の水が變に臭いので調べると二個の死体が浮び揚つた。右は去る一日家出行衛不明であつた妻の妻よ(四六)と四男四郎(七)と判明原因は長男安二が精神に異常を來したと四郎が發育不良で學校にも行けぬことなどを悲觀し四郎を道連れに投身自殺したものの。

刑事協會 平支部設置

平警察署内に刑事協會平支部を設置する事は久しい間の計劃であつたが、愈々機運到來したので十一日午前十時から發起者井上野崎、萩原三縣議並に平消防組幹部相原、關内の各氏集り種々打合せをなした。

山部氏の盛葬

縣社子齋倉神社司山部正明氏母堂磯子刀自の葬儀は十日午前九時から紺屋町自宅で告別式執行したが盛葬であつた。

軟式野球 植田優勝

茨城、福島對抗軟式野球大會は九日、十日兩日植田校庭で舉行參加七チーム、植田チーム優勝した。

植田	14-8	勿來
湯本	7-1	南中郷
植田	2-1	湯本

早合点して家出

母馬郡大野村黒木藤岡榮(二〇)は九日午後馬に乗つて同村地内を走つてゐるうちに同村田中留の二女たつよ(二二)を蹴倒し用水堀に墜落人事不省に陥りたのを見て死んだものと早合点して自宅に歸り娘を殺したから明は死ねと家を飛び出し行方不明となつたの自殺の恐れありと十日朝から消防組員總出動で山狩してゐるが、被害者は中村町丸山病院に入院加療中。

農事講演會

泉村では十八日午後一時から同村小學校で

山部氏の盛葬

縣社子齋倉神社司山部正明氏母堂磯子刀自の葬儀は十日午前九時から紺屋町自宅で告別式執行したが盛葬であつた。

農事講演會

泉村では十八日午後一時から同村小學校で

不正運送業者を 呪ふ投書

遂に平署で乗り出す

賊を捕へ

表彰さる

相馬支局通信

井戸に親子の死体

早合点して家出

母馬郡大野村黒木藤岡榮(二〇)は九日午後馬に乗つて同村地内を走つてゐるうちに同村田中留の二女たつよ(二二)を蹴倒し用水堀に墜落人事不省に陥りたのを見て死んだものと早合点して自宅に歸り娘を殺したから明は死ねと家を飛び出し行方不明となつたの自殺の恐れありと十日朝から消防組員總出動で山狩してゐるが、被害者は中村町丸山病院に入院加療中。

雑誌週間

マルトモの
平町四丁目マルトモ書店では九月七日から二十日まで雑誌週間を開催中であるが、十余名の店員全部がマルトモ雑誌週間宣傳と書いた襷を掛け店頭には本町通りと横町通りの二ヶ所に裝飾大マンドラを設備し大ショウウインドーには宣傳の裝飾を施して大々的の宣傳を試みた。家族一人に雑誌一冊といふ標語の下に月決め讀者を勧誘してゐるが、豫想外の好成績をおさめてゐる。

近頃は思想が悪化して借金を踏み倒したり、途方もない金高を副産物の損害賠償に要求する女がザラにある。ヒドイのは他で仕込んだ腹の子を見當違ひのさつぱり程度の子を押しつけようというヤツもあるから凄く。百姓さんに内幕まで見せてやりたかつた。

平町人事

出生
南町六九仲井富男政守
研町一安藤鶴松(四八)五町目二〇東京市大森區大森九丁目四八〇七丹野弘次郎(五五)鍛冶町十四東京市澁谷區橋ヶ谷町本町二丁目二四〇満山年子(五)新川町三神奈川縣川崎市小田一三九七丹野クラ(六三)

死亡
○十五丁目二十三夜尊入口一 勤人向新築、外二軒 (家主 南町 織田齒科醫院)
○長橋町十二三階建五間水道付 南町五一、二階建三間 (以上五丁目目釜屋商店)

求女
○平町新町山田麻袋工場二十歳前後月給六圓前後
○田町大塚運動具店十四五歳五圓前後
○六間門曾根健次郎十四五歳位委細面談
○給仕
○五丁目警城建物會社月五圓
○二丁目北海屋女十二三歳位
○極道小路大角茶店十三歳位

打ちあけ話

ついで近頃、田舎のオンチャンと言つたお百姓が、何か平への用のついで、あつたらう、リヤカーに妻子三人も積みこんで来て、「平で一番の料理屋を見せてやらア」と、この、谷口の玄關に入りこんで、キョロキョロ見物してゐる。書問の事でもあるし、差支へないので見ない振りして笑つてゐたが、入場無料の見物には恐れ入つた。こゝろ谷口といふは有名なものらしい。仙臺、東京間の料理屋で一番聞えてるといふ人もある。さて内幕だが、あんな商賣は誰にも出たものでなし、一つ管れば數萬圓儲かるが、一つ不景氣食ふとまた數萬圓の借金でさう。

コンポーク
鹽豚
平町田町
三三三三屋
電話三三三番

大蔵省允許
無盡
共済共栄
電話三三三番

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

店員大募集
裁縫師 數名
外交員 數名
見習者 數名
平町三丁目
佐川洋服店
電話四一八

綿んとふ
夜具地 大廉賣
夜具地 ふとん綿
秩父銘仙 極上白綿
瓦斯 上白綿
紡績 赤綿
各種
店服吳井三

久釜屋商店
和洋銅鐵金物問屋
諸橋久太郎
電話九九九番

東神火災保險株式會社
東神火災保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所 福島縣平町白銀町一
電話三三九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

謹啓亡父易興儀葬送の際には御鄭重なる御弔詞並に御香奠を賜り且遠路の處御會葬被下御芳志の段難有奉深謝候實は一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以書中御挨拶迄如此御座候
九月十日
平町四丁目
喪主 百澤才八郎
外 親戚一同

夜
腸胃 内科
胃腸病科
性病 性病科
花柳病科
皮膚病科
婦人科
門專
院醫科性病村松
(番七)一電町南町平

吸入用酸素 純度 99%
度量衡
モノサシ
マヌ
ハカリ
器量計
体温器
寒暖計
●寫眞
●秤ノ取締・錘糸・修覆致シマス
關内藥局
電話四〇番